

▼INDEX▼

■【監査ニュース】
・東北大雨宮跡地　イオンモールに全土地引き渡し 外 13 件
■【連載企画】
・「内部統制のPDCAサイクル」
■【Audit Cafe】
・「高齢化社会」

表題写真:伊豆沼のマガン

監 査 ニ ュ ー ス

・東北大雨宮跡地　イオンモールに全土地引き渡し【12/4 河北新報】
・経団連　大学と協議会設置　2019 年 1 月にも　人材育成を議論【12/5 読売新聞】
・7 大学に管理責任指摘　入試ミス巡り　昨年度国立大評価【12/12 朝日新聞】
・大学VBでビジネス創出　日本学術会議　産学連携提言まとめ【12/13 日刊工業新聞】
・科学研究費 136 億円増　政府方針　若手を重点支援【12/14 読売新聞】
・医学部入試「不適切」10 大学　文科省公表【12/15 産経新聞】
・粗悪学術誌掲載で博士号　8 大学院　業績として認定【12/16 毎日新聞】
・文科省、謝礼肩代わり依頼　米識者招請　ベネッセ側に 416 万円【12/19 朝日新聞】
・国立大学長と法人長分離　文科省有識者会議で了承【12/20 朝日新聞】
・2019 年度　国立大の交付金　傾斜配分 10%に拡大　文科省決定【12/21 読売新聞】
・ハゲタカ学術誌　大学に注意喚起　文科相【12/26 毎日新聞】
・医学部の定員超過容認　不適切入試で文科相　2019 年度、臨時で【12/26 日本経済新聞】
・名大と岐阜大　法人統合合意　2020 年度にも新法人傘下に【12/26 日本経済新聞】
・高等教育の給付型奨学金　最大年 91 万円 2020 年度から　低所得世帯、授業料減免も
【12/29 朝日新聞】

連 載 企 画



生まれも育ちも栗原築館、姓は小○ 名は卓也、人呼んで フーテンの卓 が引き起こす様々な出来事を、
なぜか国立大学法人業務に長けた 妹 が見事に解決していくコーナー！
回を重ねるごとに「卓」という人物の謎は深まるばかりですが・・・第28回目となる今回は、
「内部統制のＰＤＣＡサイクル」というお題についてご説明します。

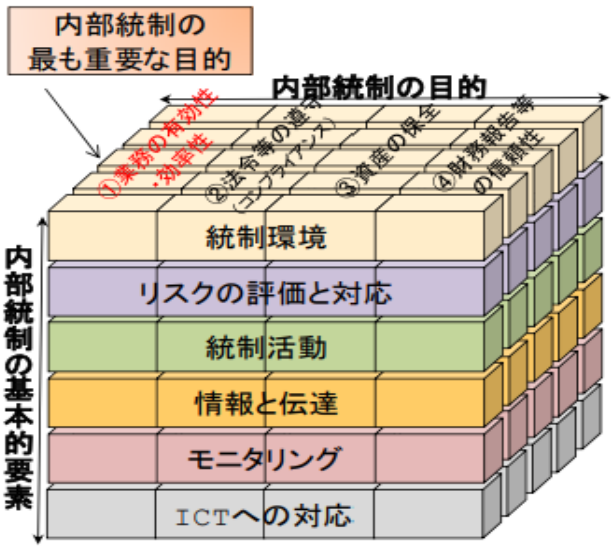
卓） よーし、年明け新たな気持ちで、頑張っていくぞ！
妹） 前向きな気持ちに水を差すようで悪いけど、この前受検した監査で忘れていることはない？
卓） なんだ、忘れていることって・・・？、改善計画書も提出したし、バッチリだろ？
妹） もー、お兄ちゃん、改善計画書の提出がゴールじゃなくて、記載した改善措置を実施することが大切なんだからね。

現在、監査室では標準会計監査とともに、２月８日にかけてフォローアップ監査を実施しております。そこで、今回はフォローアップ監査を例に、内部統制のPDCAサイクルについて、ご説明いたします。

まず、**内部統制とは①業務の有効性・効率性、②法令等の遵守、③資産の保全並びに④財務報告等の信頼性という四つの目的が達成されているとの合理的な保証を得るために、業務に組み込まれ、組織内の全ての者によって遂行されるプロセスをいい**、右図に示す6つの基本的要素から構成されています。

業務は定められた各種法令や学内規則、また、具体的な取扱いを示した各種マニュアルや通知等に基づいて行われていますが、日々皆様が行っている業務そのものが、

内部統制のフレームワーク（総務省研究会報告より）

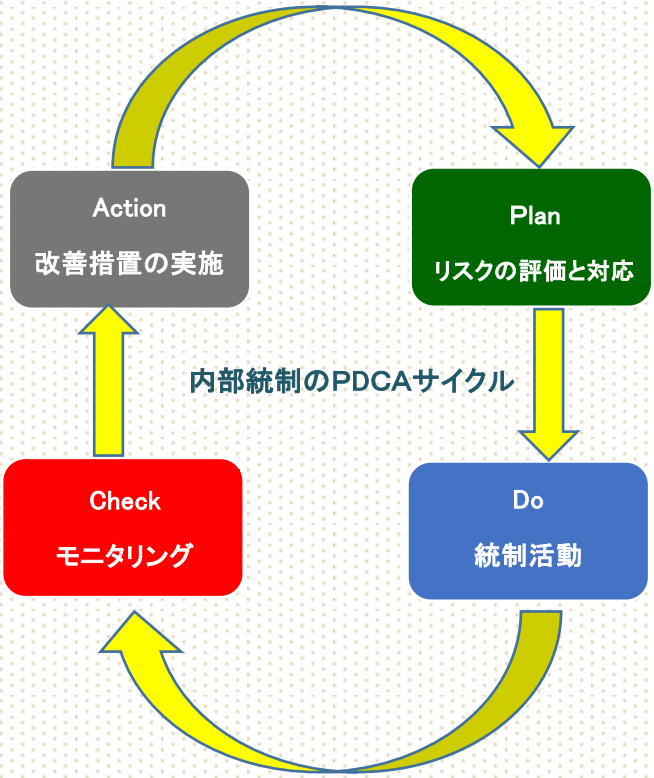


内部統制の一環であり、監査室は種々の内部統制が機能しているか、独立した立場でモニタリングを行っております。

監査の結果、内部統制の観点から課題があると判断し、監査報告書において改善計画書の提出を求めた事項については、フォローアップ監査を行っております。

フォローアップ監査を実施する目的は、課題となった事項の改善を図ることによって、業務リスクを低減し、内部統制を持続的に高めることにあります。**仮に課題となった事項が改善されないまま、ある時リスクが顕在化してしまった際は、本学の社会的信用の失墜や外部機関からの監査（検査）、評価等において指摘事項となり、本学の運営に負の影響を及ぼす場合もございます。**

上記フォローアップ監査実施の目的等をご理解いただき、引き続き、改善措置を着実に実施くださるよう、お願いいたします。



卓）　改善計画書に記載した通知文書の周知もしたし、これでOKだろ？
妹）　お兄ちゃん、その周知いつしたの？私には届いていないみたいだけど・・・。
卓）　あれ？、下書き保存したままで、送信するのを、すっかり忘れちゃってたな。
妹）　もー、相変わらず詰めが甘いんだから！
卓）　それを言っちゃぁ、おしまいよ。

このコーナーでは、皆様からの疑問・質問をお待ちしています。
日頃の業務の中でのちょっとした疑問（なんでこんな作業が必要なのだろう）や、
いまさら上司や先輩に聞けないけれど、実はよく理解できていないことなど、
いただいたご質問には出来る限り誠意をもってお答えします！
ご質問は、メール、ファックス、お手紙で！（匿名でも大丈夫です）

Audit Cafe

毎月、監査室のスタッフが交代で「つぶやく」このコーナー！
今回のつぶやきは、「高齢化社会」と言うお題のようです。
いったいどんな話になることやら・・・。

これを読んでいる方は、**プログレッシブロック**と聞いて、何を思いつくでしょうか？
ロックが好きな方なら、キングクリムゾン、ピンクフロイド、イエス、エマーソンレイク＆パーマーなどのバンドが思い浮かぶと思います。プログレのイメージはやたらと曲が長く、小難しくて、聴きにくい。もしくは、何それ？と思われている方も多数いらっしゃると思います。どういう音楽がプログレにジャンル分けされるのか、私も良くわかりません。ジャンル分けはさておき、普通に音楽として聴いてみると、まったく難しい音楽ではありませんので、万が一、実は興味があったという人がいらっしゃいましたら、キングクリムゾンの「クリムゾンキングの宮殿」「レッド」等が聴きやすいので、ぜひ聴いてみてください。
そんなプログレの代表格とも言えるキングクリムゾンが、昨年12月に来日し、全国8か所もまわってくれました。なんと、その中に仙台も含まれており、幸運なことに私も見に行くことが出来ました。東京へ行かなくても生のキングクリムゾンを見られるとは、なんて幸せなことでしょう。
実は私も詳しくないので検索してみたところ、今年でバンド結成50周年、活動休止期間もあったものの半世紀も活動しているそうです。解散と再開を何度も繰り返し、メンバーの入れ替わりもかなり激しかったようで、現在、結成当初のメンバーはロバート・フリップさんしか残っていません。



会場に集まっているのは、昔からキングクリムゾンを好きだったと思しき年代の方ばかりで、若者の姿は皆無でした。さすが、歴史あるバンドです。会場内への入退場は曲間のみ許可されており、ピアノの発表会のようでした。さすが、世界の一流バンドです。
会場に入ると、なんとドラムが3台、トリプルドラムです。トリプルドラムなんていうものは、日本のスーパーバンド　ボアダムズでしか見たことがありませんでした。どんな公演になるのか益々楽しみになりました。公演はドラム3人、サックス兼フルート1人、ベースギター1人、キーボード1人、ギター2人の8人編成で、演奏が始まると中国雑技団のような超絶技術により、ドラムが3人いる凄さが体感できました。

フリップさんは72歳のようで、最初から椅子に座りながらギターを弾いていました。しかしながら、2時間半以上の演奏時間、休憩時間を挟むと3時間にもなりますが、最後まで背筋が曲がることなく姿勢正しく弾きとおし、**仕事をしているとやっぱり元気でいられるのかな**と思いました。終演後は客席の方を写真撮影したり、楽しんでいるようでした。

高齢化社会で、仕事を引退する年齢も高くなっていきますが、ネガティブに捉えず、元気に仕事を続けられるようにポジティブに捉えていきたいと思いました。

（監査室　O）

最後までお読みいただきまして誠にありがとうございました。
引き続き、「おうでぃっとめーる」をどうぞよろしくお願い申し上げます。
バックナンバーは、監査室 WEB ページをご覧ください。

◆その他、各種お問い合わせは…

【電話でのお問い合わせ】
東北大学監査室
022-217-4874（監査室長：菅原）
022-217-5680，4880（菅野、小原、綱川、深沢、瀧澤）

【メールでのお問い合わせ】
東北大学監査室
kansa@grp.tohoku.ac.jp



メールマガジンの一部または全部を無断転載することを禁止します。
© 2010 Audit Office Tohoku University